

第58回定期総会議事録

第58回定期総会は、4月12日青葉会館で開かれ、2024年度の活動報告や2025年度の活動計画などのほか、小林新会長をはじめとした新たな役員体制を確認しました。

総会は定刻の15時に中島副会長の司会で開会。各班新旧班長など総会構成員54名中49名が出席して総会が成立している旨の報告を受けて小林副会長が総会の開会を宣言。冒頭の挨拶に立った横藤会長は、マス花壇や親睦旅行、トゥインクルな街づくりなどの活動に触れながら「青葉町に住んで38年。人生で最高の選択とも言える住みよいところと思っているが、ますます安全・安心な町内となるよう協力を」などと町内会活動への参加・協力を求めました。

その後、議長に9班班長の谷内政昭さんを選出して議事に入り、24年度の活動報告を横藤会長から、一般会計決算報告及び防災特別会計決算報告を木原会計部長から、会計監査報告を杉山会計監査から受けたあと、一括して質問・意見を受けましたが特に意見はなく全体の拍手で承認されました。

25年度の活動方針で横藤会長は「引き続き安全・安心な街づくりをベースにした活動をめざしたい」などとして、LINEやホームページを含めた情報伝達の強化と合わせ、早期に全員アンケートを行い活動の指針とする旨の基本的な考え方を述べるとともに、防災サポート制度、マス花壇の整備、親睦旅行、サークル活動、などの主な活動と各部門の連携強化の取り組みを提案。続いて予算案の提案に立った木原会計部長は、「会員が増えて今後の会計見通しもできる」として町内会費を430円から400円に改めることを含めた25年度一般会計および特別会計予算案を提案しました。

その後一括して質問・意見を求めたところ「青葉小学校跡地のサウンディング型市場調査とは」との質問が出され、横藤会長及び小林副会長から「土地の有効活用について民間業者から意見や提案などを対話の中で求める調査」「具体的な売却の検討などはその後」などと回答。その他の質問はなく全体の拍手で25年度活動方針と25年度予算案が確認されました。

会則の一部改正では、町内会費改正のほか、事業所会員の位置づけ、賃貸集合住宅の会費の扱い、女性部の廃止など、現状に合わせて会則の一部を改正することなどの報告・提案を全体で確認し、最後に小林新会長をはじめとした新たな役員体制を確認して議事的一切を終了。谷内議長の退任あいさつ後、今総会で退任する7人の旧役員の退任のあいさつと新役員全員が自己紹介し、中島副会長の総会出席へのお礼を含めた閉会の言葉で約一時間あまりの総会を締めくくりました。

総会終了後は、来賓として総会に参加した事業所会員の南部北光幼稚園長、阿久津青葉郵便局長、レガート青葉の佐々木様、坂本様からも挨拶を受け総会参加者で懇親会。コロナ禍で5年ぶりに行った懇親会でしたが、アルコールの助けも借りて来賓や新旧役員、新旧班長が和気あいあいと交流を深めました。

以上